

# 要 望 書

令和 5年 10月 10日

酒 田 市 長  
矢 口 明 子 様

あるべき洋上風力を求める会  
共同代表 五十嵐 敏彦  
齋藤 公人

日頃より、安全な市民生活を守るため、多大なるご尽力を頂き、こころ依り感謝申し上げます。現在、酒田沖を想定海域とした、洋上風力発電計画が、進められて居ります。この計画通り風車が建設された場合、酒田市民に、多大なる健康被害の発生が、想定されます。その根拠としては、以下の通りです。

1、酒田沖想定海域と遊佐沖想定海域は、海岸線からの距離が同じである事。

2、遊佐沖で、現在の計画通り、風力発電が稼働した場合、

- ① 不眠症 255名
- ② 入眠障害 13,000名以上

(北海道大学大学院地球環境研究室 田鎖順太助教授の開発ソフトでの試算値)

との試算が、令和5年5月16日、国会参議院厚生労働委員会で取り上げられました。

この試算を、そのまま、酒田沖想定海域に当てはめれば、上記の数倍の健康被害者が発生するものと、推測されます。又、遊佐沖と酒田沖が、同時に稼働した場合、庄内北部は、どの様に成るのか。

よって、現在の想定海域で、酒田、遊佐双方の風車が稼働した場合、どの様になるのか、きちんと試算をして頂き、その結果を、酒田市民に公開・周知した上で、酒田市民と『あるべき洋上風力発電の在り方』を検討して頂く事を、要望致します。併せて、試算結果が公開される迄、酒田沖洋上風力発電の検討部会開催の、延期を要望致します。

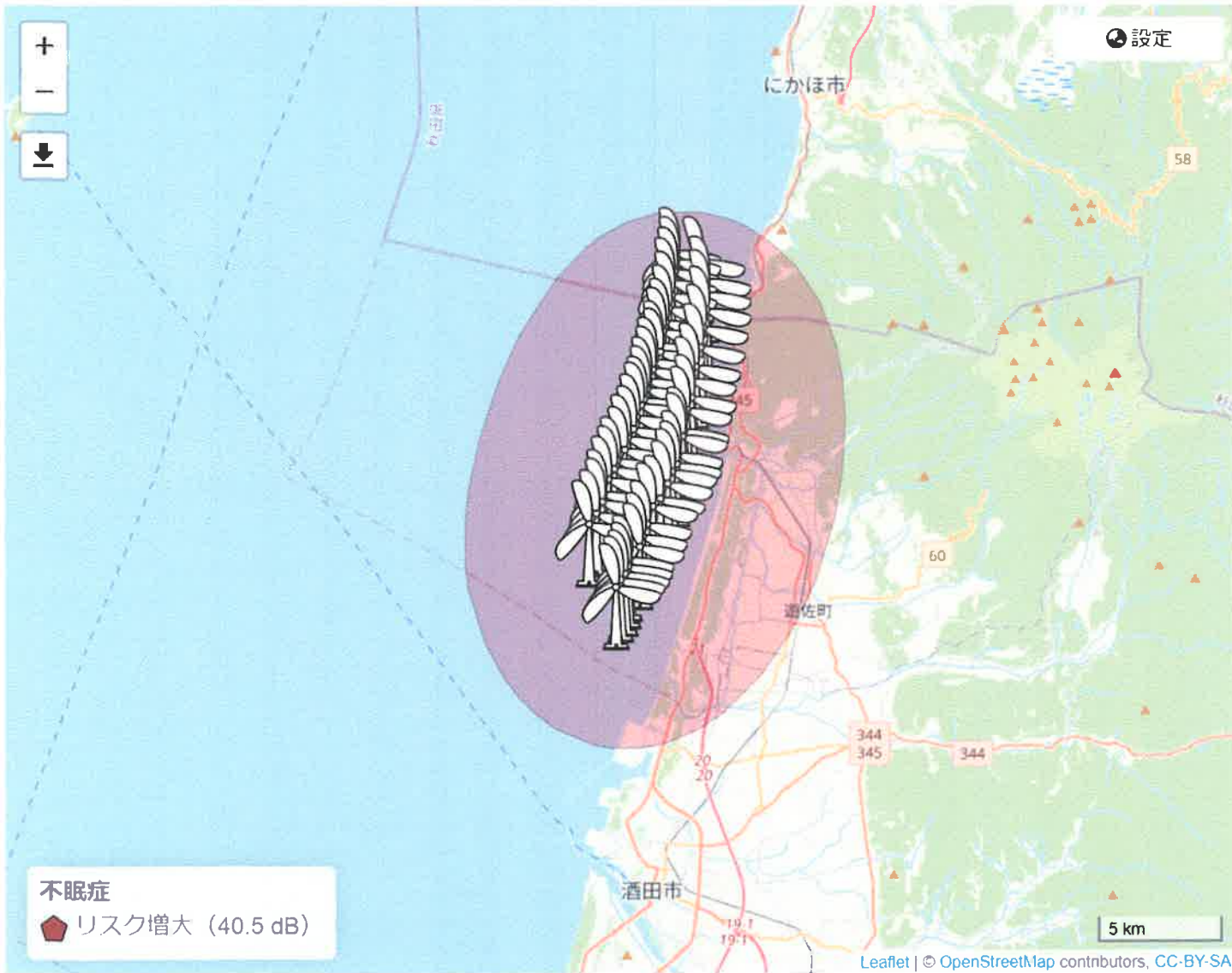
尚、試算及び、試算結果の公開の方法・日程を11月30日まで書面で回答願います。または、市民との検討会の開催方法に関しても、決まり次第お知らせ願います。

- 以上 -

連 名

讃岐 力正  
佐藤 喜代一  
佐藤 芳男  
渡辺 伸二

10/12



風車の設定 計算・描画 保存・読込

計算条件の設定 <sup>1</sup>

騒音伝搬条件等

遮音壁

左図の条件で計算 <sup>1</sup>

計算実行

予測結果の描画 <sup>1</sup>

- 騒音レベル
- 環境省：参照値
- 不眠症
- 住民数

### 不眠症リスク

| 項目                                | 人数                  |
|-----------------------------------|---------------------|
| 曝露レベル $\geq 40.5$ dB <sup>1</sup> | 10 626 <sup>2</sup> |
| 有病者数 <sup>3</sup>                 | 255                 |

<sup>1</sup>環境省による全国疫学調査において得られた不眠症のリスク増大閾値

<sup>2</sup>閾値以上の騒音曝露を受ける住民数

<sup>3</sup>同疫学調査の結果より曝露地域の有病率が対照地域より2.4%高いとして得られた推定値



風車の設定 計算・描画 保存・読込

計算条件の設定

騒音伝搬条件等

遮音量

左図の条件で計算

計算実行

予測結果の描画

- 騒音レベル
- 環境省：参照値
- 不眠症
- 住民数

曝露人口（環境省「参照値」）

| 音圧レベル（周波数） <sup>1</sup> | 人数 <sup>2</sup> |
|-------------------------|-----------------|
| 70 dB (25 Hz)           | 0               |
| 64 dB (31.5 Hz)         | 3 337           |
| 57 dB (40 Hz)           | 14 829          |
| 52 dB (50 Hz)           | 36 919          |
| 47 dB (63 Hz)           | 106 075         |
| 41 dB (80 Hz)           | 135 246         |

<sup>1</sup>環境省「低周波音による心身に係る苦情に関する参照値」、10%の住民が「入眠時に音が気になる」と回答する音圧レベルに相当。ただし「遮音量設定」の家屋遮音量を適用している。